

いしかわ

62

2016 Spring

NPO ニュース

特集

楽しいがつくるみんなの

わ

●いしかわの非営利団体を紹介します

- ◆がんとむきあう会
- ◆特定非営利活動法人サンタをさがせ委員会

●インフォメーション

法人住民税（均等割）の減免申請をお忘れなく！

「法人住民税（均等割）」とは？

「法人住民税（均等割）」とは 法人の所得や活動の有無にかかわらず、存在するだけで課せられる税金です。

減免になるのはどのような団体ですか？

寄付金や会費のみで運営している団体や、全く活動を行っていない団体、法人税法上の収益事業を行わない団体などです。

法人税法上の収益事業とは？

物品販売業、製造業、請負業、興行業など34種類の事業が定められています。

どのように手続きをすればいいですか？

県、市町の各自治体へ減免申請手続きをすることで減免を受けられます。この手続きは、各法人の決算期に関係なく毎年4月ごろまでに減免申請書を提出する必要があります。

- 【申請時の注意】 ●県と市町それぞれに申請が必要です。
●設立した時だけでなく、毎年申請が必要です。 ●自治体によって提出期限はことなります。



特集

楽

しいがつくる
みんなの

わ

「運営スタッフが不足している」「新規会員が集まらない」「活動に参加する人が少ない」—— わかっているけど、がんばっているけど、上手くいかない—— そんなお悩みを抱えているNPO・ボランティア団体は多いと思います。

もっとがんばらないといけないのでしょうか？……いえいえ、もしかするとがんばりすぎて肩に力が入りすぎているのかもしれません。

今回は、そんなお悩みの解決に役立つかもしれない一つの考え方をご紹介します。

NPO・ボランティア団体の悩み

もっと活動を
盛り上げたいけれど
仲間が増えない

自分一人が
がんばっているように
思えてしまうので
一体感がほしい

継続して
やっていきたいけど
活動がつらく感じる

多くの団体が悩みを抱えている……そこで

楽しい という視点を導入する

楽しいから……

もっとやりたい！

仲間になりたい！

盛り上がる！

「楽しい」の大切さ

全国ボランティア活動実態調査報告書（社会福祉法人全国社会福祉協議会 平成22年7月発行）によれば、個人のボランティアを対象として、ボランティア活動で得られたことを調査したところ、トップは「多くの仲間ができた（64.0%）」ですが、2番目に「活動自体が楽しい（53.5%）」ことがあげられています。

また、内閣府が実施した平成23年度国民生活選好度調査においても、ボランティアやNPO活動などに参加している理由について、3番目に「参加して楽しい（40.8%）」ことがあげられています（トップは「社会貢献できる（42.6%）」）。

「楽しい」はミッションの達成の助けに

ミッションを達成する手段として活動があり、その活動は参加者によって支えられています。

活動内容を「楽しい」ものにして活動自体の魅力を高めることは、参加者のやる気を引き出すとともに、より多くの人に興味を持ってもらうことにつながります。

また、参加者同士に「楽しい」雰囲気を作ることは、活動や団体に関心を持った人が気軽に参加することにつながります。

参加者が増え、活動が盛り上がれば、ミッションの達成はより確実なものとなるでしょう。



「楽しい」と色々な「○(わ)」



和【仲よくすること。互いに相手を尊重し、助け合う関係にあること。】

例えば、会議や打ち合わせのとき、「公平に発言する機会を全員に作る」など、参加者を尊重し、聞くだけの人にしないような配慮から和が生まれます。

また、批判的な意見ばかり言う人に対して「どうすればよくなると思いますか？」といったように質問する形で代案を求め、建設的な意見が出るよう、助け合う関係を理解してもらうことも、和の関係を作ることに繋がります。

輪【円形になっているもの。また、その輪郭。】

例えば、ある団体では、ゴミ拾いをスポーツにしてルールを設け、時間内に拾ったゴミの量と質をチームで競い合う取組をしたら、いろいろな人が参加するようになりました。また、会員同士でやっていたお花見会に、会員ではない友だちや同級生を誘ったら、団体について興味をもってくれる人が身近な所から増えました。人が輪になる関係の軸には、それなりの工夫があるものですね。



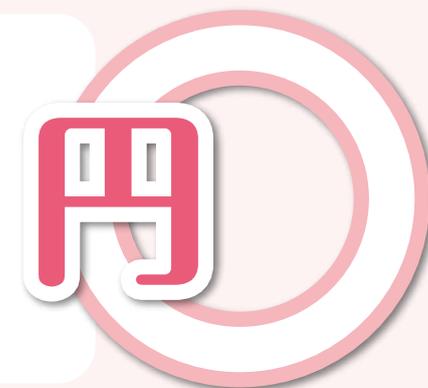
環【ひとまわりする。とりまく。】

例えば、お母さん達が構成員の子育て団体が、父親の子育て参加を促す「育メンパパ集合」のイベントを計画しました。そこで未婚の若い男子が多いボランティアサークルと共同開催したところ、たくさんのヤングパパや、未婚男子が参加しました。子育て団体だけでなく、その周りを取りまく様々な関係との連携は、大きな力になりますね。このように様々な人や団体をひとまわりしてつながれば、活動の広がり楽しさが生まれるのではないのでしょうか。



円【まるいこと。まるい形。日本の通貨の基本単位。1円は100銭。】

「円満」は「自分の利」と「他人の利」がひとつになって生まれると言われます。ですから一人だけの「円満」は自己満足とも言います。団体の活動に共感したり、支援したいと思ってもらうことは、相手(他人の利)へどう働きかけるか、あるいは自分たちの活動をどう見せるかにほかなりません。その結果、会員になってくれたり、活動を必要とする人たちが現れ、収益につながることもあるかも知れません。



※【 】は明鏡国語辞典より引用

ちょっとした工夫でも「楽しい」が生まれるかもしれません。
みなさんの活動では、どんな「○(わ)」が見つかるでしょうか。

「教えて! いねっとのおおみさん」



非営利団体のためのQ&Aシリーズ②

いしかわ市民活動ネットワークセンター 代表理事 青海 康男

Q 今年も石川県に「活動報告書」を提出するNPO法人です。これまで提出していた「収支計算書」ではなく、「活動計算書」で提出するようにとアドバイスを頂いていますが、どうして様式が変わってしまったのですか？必ず「活動計算書」でなければならないのでしょうか？

A これまでのNPO法人の決算報告書には、統一した会計報告のルールがなく、NPO法が出来た時に内閣府が見本として提案した書式「収支計算書」が主に使われてきました。しかし、会計報告の書式がまちまちで団体の財政比較がやりにくかったり、「その他の事業」が別記のため、経理が複雑に見えるなどの声があり、NPO法人会計基準協議会（全国のNPO支援センターと会計専門家が組織）が、2010年7月に「NPO法人会計基準」を策定公表し、2011年のNPO法改正で、従来の収支計算書から活動計算書に変わりました。

これでやっとNPO法人も、NPOの特徴が生かされた会計ルールを持つことができたのです。

この会計基準の普及に当たっては、強制的な移行を望む声もある中、NPOは政府からの関与を受けない自発性を核とした社会貢献活動組織であることを尊重すべきとの声から、「現段階においてNPO法人の望ましい会計基準」とだけ位置付けられ、採用が強制されたわけではありません。

しかし、法律改正から5年。NPO法人を支援する立場の人や、助成財団など、支援する側の視点は「活動計算書」を読むことが普通になってきたのです。

ここに石川県のNPO法人の活動計算書普及率を調査したグラフがあります。

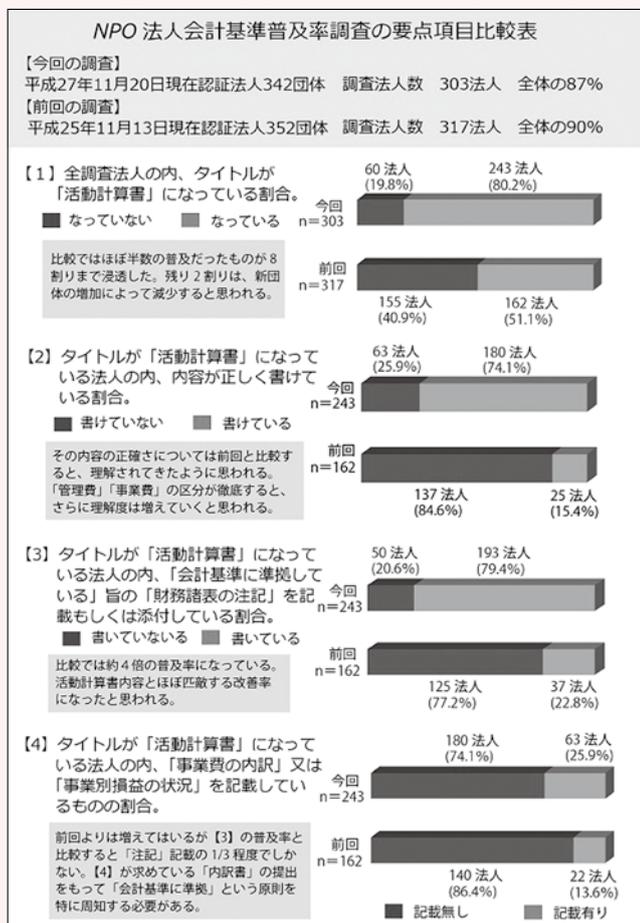
【1】は調査法人の計算書のタイトルが「活動計算書」になっているかどうかの比較です。2年前の約50%から80%に増えています。

【2】はその内容の正確さですが、こちらは約15%から、約70%に充実してきています。

【3】は「NPO法人の会計基準に準拠している」旨の記載があるかどうかです。2年前と比較すると3.5倍にも増えています。

最後に【4】のグラフです。「NPO法人会計基準」は「注記」の中の「事業費の内訳」もしくは「事業別損益」も添付することを求めているのですが、その普及率には大きな変化がなく、約26%でしかありません。

事業費や事務局経費など、個々の結果が一覧で比較のできる「注記」の添付があつての「会計基準」です。さらに普及率を高め、社会から信頼のあるNPO法人の会計報告に務めたいものですね。



がんとむきあう会

代表者：西村 元一

【電話】076-221-1923 【FAX】076-242-0647

【事務所】金沢市高岡町12-13（食事の教室くでん内） 【ブログ】<http://gmk2013.exblog.jp/>

【E-mail】gmkk2013@gmail.com 【フェイスブック】<https://www.facebook.com/gmk20/>

● その人らしくいることができる“場”をつくりたい

昔と比べれば、がん治療の医療技術は大きく進歩しました。しかし一方で、医療者ががん患者に提供するサポートは、時間とともに変化していく病状に即したのではなく、画一的なものになりがちであるように思います。

また、がん患者が退院して外に出ると、医療者などの人とのつながりが急に稀薄になり、恐怖や不安をひとりで抱えることとなります。

私たちは、がんを抱えた方が、家族が、友人が、がんとむきあいながらも、病人ではなく、その人らしくいることができる“場”を、金沢の町につくることを目的に活動しています。

● 金沢マギー

私たちは、イギリスのマギーズがんケアリングセンターをモデルとして、高岡町の「食事の教室くでん」を拠点として、「金沢マギー」を開設しました。

金沢マギーは、利用は無料で、出入り自由で気軽に立ち寄ることができ、がん患者や家族が同じ境遇の人や専門職とつながる、場合によってはがん患者さん自身がつなぐ役割を持つ場所—まちの中の“つながる”場所です。

主な活動

●●● 金沢マギー ●●●

毎月第2・4火曜日 13:00~17:00
家庭的な雰囲気の中でお食事や会話など、ご自由にお過ごしください。

●●● 金沢マギー まなびの教室 ●●●

毎月第1土曜日 14:00~16:00
がんに関する詳しい看護師たちが生活の視点から皆さんの疑問に分かりやすくお答えします。

●●● 金沢ときどきマギーの日 ●●●

より多くの方に参加いただけるよう、街に出て出張マギーをしています。

●●● 金沢一日マギーの日 ●●●

がんに関わる全ての人が進歩的な取り組みを学べるよう、講演会や座談会を開催しています。

● 常設化と法人化を目指していきたい

まだ開催できる日が少ないですが、リピーターの方も新しく利用される方も多くおられて、金沢マギーのような場所にニーズがあることを実感しています。今後は本当にいつでも開放されている場所となるように常設の交流拠点を整備したいと思います。整備にあたっては「元ちゃん基金」を創設いたしました。皆様のご協力を賜れば幸いです。

また、より多くの人に関わっていただけるとともに、運営をよりしっかりとしたものとするため、NPO法人化を目指しています。



● 読者へのメッセージ

今では、がんは2人に1人はかかるといわれるほど身近な問題となっています。自分や家族ががんを抱えたときにどう過ごすか。みなさんもぜひ想像してください。

私たちがささやかながら提供する場が、みなさんの「こんなところがあったらいいな」という思いを少しでも実現できていたら、とてもうれしく思います。

特定非営利活動法人 サンタをさがせ委員会

代表者：松本 茂美

【事務所】 河北郡内灘町字向栗崎 4 丁目22番地 1 【電話】 090-9448-0735

【E-mail】 santa@spacelan.ne.jp 【FAX】 076-239-0719

5月から毎月第2・第4木曜日の
13:30～17:00
事務所をオープンにします。
いろいろおしゃべりしましょう。
気軽にお立ち寄りください！

障がいのある人が地域の一員としてとけこんでいる町にしていきたい

「サンタをさがせ委員会」は、障がいのある人のことをもっとよく知ってもらい、この地域の皆さんと仲良くなりたいと、2006年12月の障害者週間に合わせて活動をスタートし、これまで夏と冬のイベントを通して、内灘町を中心に地域の人たちと障がいのある人たちとの交流を進めてきました。

10年間の活動で得た経験と知恵は、「サンタをさがせ委員会」の大切な財産になっています。

この財産を活かし、障がい者、高齢者の方々に家族のように寄り添って一緒に考える、「このような会だからこそできる支援」をしたいと強く願うようになりました。

これまで「サンタをさがせ委員会」が培ってきた地域の皆様とのつながりを大切に、活動の幅を広げ、しっかりと責任を持って継続し、法人でなければできない活動をするために、特定非営利活動法人として活動することにしました。

「サンタをさがせ委員会」はこんなことをします（会員も募集中！）

障がい者や高齢者への理解促進のための交流事業

7月 サンタ・イン・サマー、
12月 サンタをさがせ!! 交流ウォークラリー

その他この法人の目的を達成するために必要と認められる事業（準備中）

外出支援、家事援助等

成年後見人（市民後見人）に関する事業（準備中）

市民後見人（法人）としての支援、市民後見人養成講座開催等



ボランティア養成事業

交流イベントでのボランティア養成

**障がい者、高齢者への理解促進と
バリアフリー推進の為の講師派遣事業**

障がいと障がい者を理解するための講演と障がい者・高齢者体験

高齢になっても、障がいがあっても、ずっとこの地域で住み続けられますように

- ♥ 私たちは市民後見人として、活動をします。特に身上監護が大切だと考えています。
- ♥ 自分の事をうまく表現できない方に寄り添い、その方を尊重して、自己決定のお手伝いをします。
- ♥ 中立の立場で、ご本人のためになると思えることを、複数人で考え提案します。
- ♥ 心を込めて、家族のような気持ちで接します。
- ♥ 出来るだけ長いお付き合いをしていただけるよう、体制を整えています。



～♪ 一人一人がサンタクロース だれもみんな 心には サンタクロースが住んでいるよ
ずっと暮らしたい この街で みんながいるから この街の とともに生きている 仲間だもの♪～
「サンタクロースに誘われて」より 作詞・作曲 「サンタをさがせ!!」 実行委員会

INFORMATION

新しく認証した特定非営利活動法人 (平成27年12月1日～平成28年2月28日)

認証日	法人名称	主たる事務所の所在地	主な活動の種類
H27. 12. 2	特定非営利活動法人 サンタをさがせ委員会	河北郡内灘町字向栗崎 4丁目22番地1	保健、医療又は福祉の推進
H28. 2. 22	特定非営利活動法人 ふくしの里栗崎	金沢市栗崎町へ33番地	人権擁護又は 平和の推進を図る活動
H28. 2. 24	特定非営利活動法人 石川県防災士会	金沢市久安3丁目171番地	地域安全活動

これDO? (企業×NPO物品マッチングシステム)

「これDO?」は、NPOが希望する物品について、企業などから不要になった備品などを提供してもらい、あいむが仲介してNPOで有効活用してもらう仕組みです。

最新情報	提供者	金沢いぬわしクラブ
	提供備品	大型テント (3.6m×5.4m) 1張 (6柱・3方張りシート付)

詳細はあいむホームページで▶<http://www.ishikawa-npo.jp/koredo/>

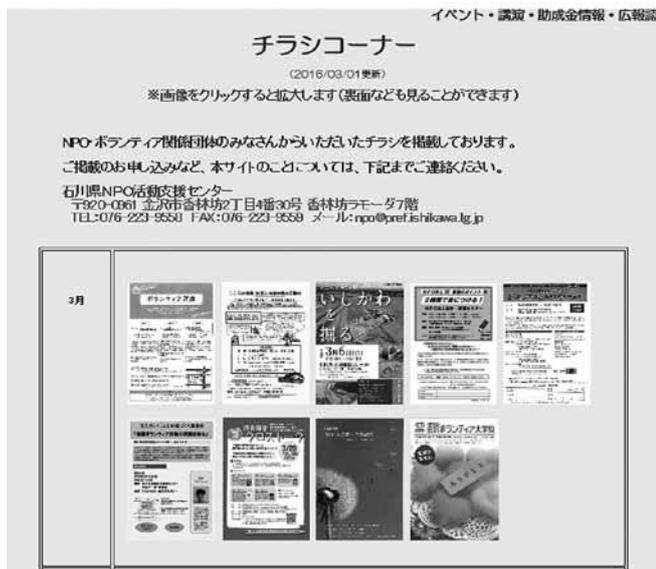
ホームページにチラシコーナーを設置しました。

あいむのホームページに「チラシコーナー」を設け、NPO・ボランティア関係団体のイベントのチラシや広報誌、各種団体の助成金情報などを掲載しています。

情報発信、収集にお役立てください。

(アドレス) <http://www.ishikawa-npo.jp/chirasi/kaisaiannai.htm>

※トップページ (<http://www.ishikawa-npo.jp>) の「新着情報」の「チラシコーナー」またはトップページ最下部の赤字の「チラシコーナー」をクリック。



なお、「チラシコーナー」に掲載をご希望の団体は、下記までご連絡ください。

石川県NPO活動支援センターあいむ

〒920-0961
 金沢市香林坊2丁目4番30号
 香林坊ラモータ7階
 TEL: 076-223-9558
 FAX: 076-223-9559
 メール: npo@pref.ishikawa.lg.jp